

1 国語を学ぶねらい

義務教育修了後も社会に通用する言語能力を身に付けることを目標とする。そのためには、漢字・語句・文法の知識を身に付けること、国語による表現力と理解力を付けること、伝え合う力を高めること、そして思考力・想像力を養っていくことが重要である。国語がすべての学習活動の基本となることを自覚させた上で学ばせていく。

2 学習方法

- ・授業の学習活動を確実に行う。先生の説明は、正確に聞く。ノート・プリントは記入もれなく書き、気付きをメモする。課題は、時間内に終わらせる。発問に対しては真剣に考え表現する。友達の発言はよく聞き自分の考えを深めたり広げたりする。
- ・復習を欠かさず行う。ワークを使い、漢字学習や問題演習に取り組む。
- ・ワーク、プリント、書写等提出物は、ていねいに期限内に遅れないよう提出する。

3 持ち物、忘れものなどについて

● 持ち物

- 【国語】 教科書、ノート、ワーク、3年間のまとめワーク、ファイル、漢字ワーク、資料集
 - 【書写】 書写教科書、書写セット（年間10時間程度実施）
- ※忘れ物は、申し出ること。

4 学習の評価内容と評価方法

①「知識・理解」

【古典・漢字・文法等小テスト・書写・定期考査】

②「思考・判断」

【定期考査、スピーチや話し合いの発表、作文、ワークシート、ノートの記入、問題集】

③「主体的に学習に取り組む態度」

【ノートの工夫、振り返り・記録、提出物、授業での取り組み】

5 先生からのアドバイス

学校の評定は三つの観点の総合成績です。「読解問題」の得点力をつけるだけでは成績アップは難しいです。授業では、自分で考えをまとめる、考えを発信する、他人の意見を聞き、考えを広げることを意識しましょう。ノートにメモをすると力がつきます。家庭では毎日短時間でも漢字や語彙を増やす学習をしたり、読書をしたり、「繰り返し、諦めずにコツコツ努力すること」を実践しましょう。社会に出た時に使える国語力の基礎を固めましょう。

6 国語科3年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 6 7	世界はうつくしいと 握手 意見を聞き、適切さを判断する 学んで時に之を習ふ ——「論語」から 作られた「物語」を超えて 書写(毛筆・硬筆) グラフを基に小論文を書く 俳句の可能性 報道文を比較して読もう	◎詩の構成や語句に着目して自分の考えを深める。 ◎抽象的な概念を表す語句などを用いて人物像を表す。 ◎人間の生き方についての孔子の考え方を、自分たちと関連付けて考える。 ◎論理の展開における、具体と抽象の関係を捉える。 ◎行書の特徴を捉えて表現することができる。 ◎俳句の表現意図による語句の使い分けに着目し、語感を磨く。	・小テスト ・書写作品 ・定期考査 ・スピーチや話し合い ・作文 ・ワークシート、ノートの記述 ・問題集 ・授業の振り返り ・授業での取り組み
2	9 10 11 12	故郷 論理の展開を整える 慣用句・ことわざ・故事成語 複数の意見を読んで、考えよう 多角的に分析して批評文を書く 和歌の世界 君待つと ——万葉・古今・新古今 夏草 ——「おくのほそ道」から 合意形成に向けて話し合おう	◎作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ◎文章を批判的に読み、論理の展開や表現の仕方を評価する。 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	等
3	1 2 3	書き初め互評会 温かいスープ アラスカとの出会い 3年間のまとめ 漢字・語句・文法 読み取り問題 課題作文	◎互いの作品を批評する。 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ◎話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。	